

春の嵐にシャベット状の雲が舞う日もあった3月も終わり、早くも今年も定例総会の日が近づいております。会員の皆様におかれましては、つつがなくお過ごしのこととお伺い申し上げます。三田の桜は4月の声を聴いてやっと、つぼみがほころび始めました。咲き始めるとあつという間に満開となり、あつという間に散ってしまう、そのはかない美しさゆえに桜を題材にした詩や曲はたくさんありますね。

さて、2024年の日本は能登半島沖地震に始まり、続けて羽田空港飛行機衝突事故があり、お正月どころではありませんでした。お亡くなりになった方々に衷心からのお悔やみと被災されたみなさまに心からのお見舞いを申し上げます。自然災害という災難がいつ降りかかるかもしれない地球にみんな住んでいるというのに、世界ではロシアのウクライナ侵攻による戦争やイスラエルによるガザ地区爆撃のニュースが毎日のようにメディアから流れています。決してめでたいばかりの人間世界ではないのですが、天災ばかりは、避けようのない悲劇といえるのではないのでしょうか？しかし、天災は不断の努力によって、減災できるという説もあることを忘れてはいけないと思います。天災や事故に備えるという心構えと実際の備蓄や訓練などをついつい私たちは後回しにしがちです。地震国日本と言われる国ですが、三田に地震は来ないと思っている人は多いのではないのでしょうか？国の活断層マップを見ると三田も決して安泰でいられるとは思えません。お互いに、備えあれば憂いなし、の精神で万一の場合に備えましょう。さて、令和5年度後半の緑の環境クラブの活動はコロナ禍前とほぼ変わらない活動をしてきました。有馬富士森林公園内での里山管理活動をしながら、北摂里山大学学習支援、「フォレスターうじ」との研修・交流会実施 松が丘小学校の環境学習支援、シイタケの植菌イベントなどを行いました。活動の様子は下部の写真をご覧ください。3名の新入会員も加入され、まだまだ息長く活動を存続していけそうです。これからも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

代表世話人 北田香菜子

令和5年度 下期の活動報告

★里山ふれあい森づくり作業 作業日数 38日 作業延人数 269名(10/1 ~ 3/31) 三田市立有馬富士森林公園内Dゾーン(9.9ヘクタール)の里山放置林を保全・整備しています。基本的には毎週水・土曜日にメンバーが集まり、笹藪除去・枯松処理など、里山ふれあい森づくり作業を推進中です

▲令和6年2月14日(水)13名のレギュラーメンバーが集合



▲有馬富士森林公園エリアの笹藪・枯松処理・密集地帯の常緑樹の間伐に注力 天皇陛下の御下賜金を活用して刈り払い機を購入 野鳥の小道の笹藪刈り取り



▲令和5年10月14日(土) 尼崎信用金庫三田支店の皆さんと笹刈り 尼崎信用金庫の店舗内のビデオ放映の為、広報関連の方も。



2023-11-15 野鳥の小道:ビフォー



2023-12-20 野鳥の小道:アフター



★イベントの開催 イベント日数 13日 スタッフ延人数 65名(10/1 ~ 3/31)

①2月24日(土)シイタケ菌打ち体験会 参加者35名・緑の環境クラブ13名 計48名



②11月5日(日)「フォレスターうじ」との研修・交流会 16名の参加・緑の環境クラブ10名 計26名



★里山体験学習支援 ①10月7日(土)北摂里山大学「植生調査」学習支援 受講生31名、講師3名、スタッフ6名、緑の環境クラブ5名:総勢約45名



②10月21日(土)北摂里山大学「植生管理実習」学習支援 受講生31名、講師3名、スタッフ5名、緑の環境クラブ8名:総勢約47名



③11月14日(火)松が丘小学校の川除エリアで里山学習 17名、スタッフ5名



④12月14日(木)松が丘小学校の里山保全体験学習 17名、スタッフ8名



松が丘小学校の里山学習支援は3回実施 第1回教室の講義「自然と里山と生活」 第2回左上の③11/14の「里山エリアの散策」 第3回上記の④12/14の「里山保全体験学習」

令和6年度上期の活動予定

- 4月以降 里山保全活動 :有馬富士森林公園及び周辺エリアでの森林整備等 毎週水・土曜日に活動 7・8月は、活動休止
- 4月24日 第27回「緑の環境クラブ定時総会」開催
- 5月7・14日 有馬高校里山について 里山管理体験の支援

- 9月中旬 きのご観察会
- 令和6年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、「4月度 春を食する会」の催しは中止。有馬富士公園春フェスティバルは開催されますが、感染防止の為、緑の環境クラブの「フェスティバル出店」は中止します。